

### 第3学年社会科学学習指導案

1 単元名 第3編 私たちの生活と経済

7 現代の雇用② 男女共同参画社会のすすめ

(2時間扱いその2)

2 ねらい 男女共同参画社会の実現にむけて、男性の育児休業取得率を上げる具体的な方策を多面的・多角的に考え、自分の言葉でまとめる。【主体的に学習に取り組む態度】

3 展開

学習活動	時間	主な発問と予想される生徒の反応	留意点 ●評価	スライ ドNo
1 本時の学習について知る	2	○ 写真を見て、考えたことを自由に発表しよう。 ・赤ちゃんにご飯を食べさせているお父さんは慣れていない感じがする。 ・お風呂に入れている、お父さんの手つきがぎこちない感じがする。 ・お母さんは助かると思う。	○ 学習への意欲を高め、和やかで発言しやすい雰囲気づくりをする。	1 2
2 グラフから読み取ったことをもとに学習課題を設定する	5	○ グラフからどのようなことを読み取ることができるだろう。 ・外国に比べて、日本の夫は家事・育児時間が少ない。 ・日本の夫の家事・育児時間は、アメリカの1/3程度である。 ・外国に比べて、妻の家事育児時間は1時間以上多い。 ・妻の家事・育児の負担が外国に比べて大きい。	○ 家事や育児のために離職する女性が多いことから、働きたい女性が、子どもが生まれても仕事を続けられるようにするには、外国のように男性の家事・育児参加が必要であるということを確認し、学習課題を設定する。	3 4
		日本の男性が家事・育児に関わる時間を増やすにはどうすればよいのだろう		5 6
3 資料をもとに考える	8	○ 資料をもとに考えよう。 ・「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「反対」「どちらかと言えば反対」と答えた人の割合は50%近くを占めている。	○ これまでの学習から、労働は、家計を維持・向上させるだけでなく、個人の個性を生かすと共に、個人と社会を結び付け社会的分業を担うこと	7

<p>4 立場に分かれて考える</p>	<p>個 5 小集団 7 全体 15</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男性の育児休業取得率は、とても低い。</li>   <li>・ 憲法で男女の平等や勤労の権利が定められており、法律で男性にも育児休業制度が保障されている。</li> <li>・ 憲法で男女の平等が定められ、法律で男女ともに育児休業が取得でき、家事・育児に参加できる仕組みは整っているのに、現状では、男性の育児休業取得率は大変低い。</li>   <li>○ 日本の男性の育児休業取得率を上げるにはどのようにすればよいだろう。 男性・家族・職場・国や地方公共団体の立場から考えよう。</li>   <li>〈男性〉</li> <li>・ 普段から職場の人間関係を積極的につくる。</li> <li>・ 家でもできる仕事にしてもらえよう、上司に相談する。</li> <li>・ 出産後、仕事にどのように取り組みたいか、妻の気持ちを聞いたり、子どもと過ごす時間を確保する方法を考えたりする。</li>   <li>〈家族〉</li> <li>・ 協力する雰囲気をつくる。</li> <li>・ 妻に相談する。</li> <li>・ 家族会議を開いてよく話し合い、お互いが気持ちよく納得して生活できるようにする。</li>   <li>〈職場〉</li> <li>・ 言いやすい環境をつくる。</li> </ul>	<p>によって社会に貢献し、社会生活を支えるという意義があることを思い出させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料3の縦軸の数値に着目させ、男性の育児休業取得率の現状に気付かせる。</li> <li>○ 資料から読み取ったことと、既習の「法の下での平等」や「勤労の権利」、法律で保障されている育児休業制度などに関連させることで、追究への意欲を持たせる。</li>   <li>○ 男女共同参画社会の実現にむけて、具体的な方策を、多面的・多角的に考えさせる。</li> <li>○ 3で捉えた課題を踏まえて個人の考えを持たせた後、小集団で集約し、全体の場で発表する。</li> <li>○ 小集団の発表を聞き合い、質疑応答を通して検討し、自分の考えを深めさせる。</li> </ul>	<p>8～ 12</p> <p>13 14</p>
---------------------	--------------------------------	--	--	--------------------------------------

<p>5 家事・育児に積極的に参加している男性の取り組みを知る</p>	<p>3</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 上司が積極的に取得する。</li> <li>・ 取得した男性の体験談を知らせる。</li> <li>・ 育休を取得した男性社員が、復帰後困らない制度を整える。</li> <li>・ 柔軟な勤務制度を設ける。 〈国や地方公共団体〉</li> <li>・ 男性に取得を働きかける法律や条例をつくる。</li> <li>・ 男性の育休取得率の目標を設定し、目標に達した事業所には補助金を出す。</li> <li>・ 取得した男性の体験男をもとに番組やCMをつくり理解を広げる。</li> <li>・ 家事や育児の研修をする。</li> </ul> <p>○ 実際に育児休業を取得し、家事・育児に取り組んでいる男性の体験談を聞こう。</p>	<p>○ 育児休業を取得した男性の体験談を聞き、イメージを広げさせる。</p>	<p>1 5 ~ 2 2</p>
<p>4 学習のまとめをする</p>	<p>5</p>	<p>○ 男性も育児休業を取りやすくするために大切なことは何だろう。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>法律で、男性の育児休業取得も可能になっているが、従来の意識が強く残り、実際には男性の育児休業取得は進んでいない。国や地方公共団体、職場は、男女にかかわらず、育児休業を取りやすい環境づくりをする必要がある。また、家族でよく話し合い、お互いの納得のいく働き方ができるように決め、行動していく必要がある</p> </div>	<p>○ 自分の言葉で、本時のまとめをする。</p> <p>● 男女共同参画社会の実現にむけて、具体的な方策を、学級での話し合いを踏まえて、多面的・多角的に考え自分の言葉でまとめることができるか。</p> <p>(ワークシート【主体的に学習に取り組む態度】)</p>	<p>2 3</p>